

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年11月5日(2009.11.5)

【公開番号】特開2006-14932(P2006-14932A)

【公開日】平成18年1月19日(2006.1.19)

【年通号数】公開・登録公報2006-003

【出願番号】特願2004-195549(P2004-195549)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 1 A

A 6 3 F 7/02 3 1 3

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月17日(2009.9.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

前記第 1 特別図柄始動口に遊技球が入球すると乱数値が取得され、該乱数値を記憶する第 1 変動保留記憶手段と、

前記第 2 特別図柄始動口に遊技球が入球すると乱数値が取得され、該乱数値を記憶する第 2 変動保留記憶手段と、

前記各乱数値を当選乱数値であるか否かを判定する当否判定手段と、

該当否判定手段の結果に基づいて図柄を変動し、確定表示する表示装置と、

該表示装置の前記図柄の表示に対応して前記第 1、又は前記第 2 変動保留記憶手段により記憶されている変動保留記憶数の表示を各々行う保留記憶数表示手段と、  
を備え、

前記図柄の変動開始時に、前記当否判定と前記図柄の変動時間を決定する構成で、

前記変動時間は、

前記第 1 変動保留記憶手段が記憶している第 1 変動保留記憶数と、

前記第 2 変動保留記憶手段が記憶している第 2 変動保留記憶数と

を参照し、

その数に応じて前記変動時間を決定する変動時間決定手段を備えることを特徴とする弾球遊技機。

【請求項 2】

請求項 1 記載の弾球遊技機において、

前記変動時間は、

総記憶数が同じでも前記第 1 変動保留記憶数と前記第 2 変動保留記憶数の記憶数の差により、変動時間を決定するためのテーブルが変更される

ことを特徴とする弾球遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

上記の課題を解決するための手段として請求項1の発明は、

前記第1特別図柄始動口に遊技球が入球すると乱数値が取得され、該乱数値を記憶する第1変動保留記憶手段と、

前記第2特別図柄始動口に遊技球が入球すると乱数値が取得され、該乱数値を記憶する第2変動保留記憶手段と、

前記各乱数値を当選乱数値であるか否かを判定する当否判定手段と、

該当否判定手段の結果に基づいて図柄を変動し、確定表示する表示装置と、

該表示装置の前記図柄の表示に対応して前記第1、又は前記第2変動保留記憶手段により記憶されている変動保留記憶数の表示を各々行う保留記憶数表示手段と、  
を備え、

前記図柄の変動開始時に、前記当否判定と前記図柄の変動時間を決定する構成で、

前記変動時間は、

前記第1変動保留記憶手段が記憶している第1変動保留記憶数と、

前記第2変動保留記憶手段が記憶している第2変動保留記憶数と

を参照し、

その数に応じて前記変動時間を決定する変動時間決定手段を備えることを特徴とする弾球遊技機である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

請求項2記載の発明は、請求項1記載の弾球遊技機において、

前記変動時間は、

総記憶数が同じでも前記第1変動保留記憶数と前記第2変動保留記憶数の記憶数の差により、変動時間を決定するためのテーブルが変更される

ことを特徴とする弾球遊技機である。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

変動保留記憶数を参照して、前記表示装置に表示される図柄の変動時間決定手段の制御を行う構成の場合、参照した他方の変動保留記憶数が自変動保留記憶数より多い場合は自保留記憶数に対応している表示装置が通常より長い時間の図柄変動時間を取得するようにし、他の変動保留記憶数が自変動保留記憶数より少ない場合は短い時間の図柄変動時間を取得して、各々の変動保留記憶数が同数になるように調整することが考えられる。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 7】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0009  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 8】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0010  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 9】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0011  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 10】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0012  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 11】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0013  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0013】

請求項 1、2 の発明によれば、当否抽選を行わない過剰な入賞が発生しにくくなり、遊技者の遊技意欲を向上させる。